



響音

H i b i k i



令和3年5月13日

4.15 初任研 研修コーディネーター・指導教員等連絡会～

研修コーディネーター・指導教員は大切な仕事 ～みんなが育つ初任者研修～

東信教育事務所だより「響」ショート号では、新しい情報を即時的にお伝えできるよう、随時発行してまいります。
通常版とあわせて各学校でお役立ていただけますと幸いです。

学校が一丸となって初任者研修をスタートするために、研修コーディネーターや指導教員のみなさんが、学校体制づくりを進めてくださっています。献身的な取り組みに心から感謝するとともに、改めて指導教員と研修コーディネーターの違いや役割についてお伝えします。



指導教員

指導教員の役割は？

初任者に対して
直接指導をします。



初任者

支援・指導

1年間初任者に寄り添い、初任者と学級の子どもたちの様子を見守り、きめ細やかに指導をする役割を果たします。

研修コーディネーターの役割は？

メンターチームを中心とする
校内研修の調整をします。



研修コーディネーター

調整

研修コーディネーターは、メンターリーダーを育てながらメンターチームの研修を支える役割を果たします。

学級づくり

授業づくり

初任者

メンターリーダー

メンター「優れた助言者」チーム

メンターチームは初任者と共に力を発揮します

- ①多様な経験年数 ②多様な立場 ③得意分野を発揮
- ④共に学び合う集団で



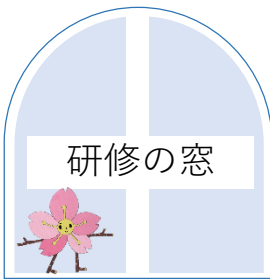
算数部会

(QT)

学年会等

拠点校方式でもメンター方式でも、「学校全体で初任者を育てる」というチームワークが大切です。校内の先生方にとっては、初任者を育てることで自分自身のキャリアを見直す機会です。初任者の力を育みつつ、学校全体の教師力を向上目指していきましょう。





同期の仲間と心を共に、「感じる」一年を ～初任研 スタート研修～

令和3年度初任者の同期が集まりました。原山教育長からのメッセージ、コンプライアンスや授業づくり学級づくりの基礎基本、教師としての在り方の講義など、教師として出発の研修会となりました。

初任者の声

画面やチャットやアンケートで、言葉を交わしました。

緊張と不安の毎日でしたが、先輩方のメッセージを見て心がほっとしました。涙がでそうになりました。

完璧ではなくても、たくさん失敗しても、子どもと一緒に生活をつくっていきこうと強く思いました。

一年間でこれだけ多くのことを学べるのは、初任の一年間だけだと思います。

何もかもが初めてですが、初任者である先生方と一緒に経験を積んでいければいいなと思いました。



同期の先生方がいるって心強いと思いました。



感じることは、自己を高める第一歩。

率直な現在の気持ちを入力してもらいました。すると、「楽しい・充実」と言った前向き言葉や、忙しい・大変・多いなどの戸惑いも目立ちます。その中に見える「感じる」という言葉。教師として子どもたちと共にいることへの責任や、子どもと共に変わろうとする自分に高揚しているような、そんな様子が垣間見えてきました。

初任者のみならず、教師にとって、感度を高めていくことは、子どもや学級の変化に気付いたり、授業づくりや教材研究への視野を広げたり、教師としての自分を俯瞰する力を高めていく第一歩です。

自分が感じたことやその変化を自己の成長として自認し、自己を高めていきましょう。



AIテキストマイニング（出現頻度）

大切なインプットや、仲間との出会いがありました。これから、同期と助け合い磨き合いながら、たくさんのことを「感じる」一年間を歩んでください。私たちも応援します。

